

学芸員のある1日

9:30 出勤
開館準備
10:00 メールチェック
11:00 マスコミ取材対応
12:00 お昼休憩
13:00 学芸会議
14:00 企画打ち合わせ
16:00 特別展準備
18:15 退勤

次の展覧会の
レイアウトですが…



「お客様が作品と良い時間を過ごせる
展覧会をつくりたい！」

#お仕事
ファイル

財団のお仕事をご紹介します！



美術館学芸員は、展覧会の企画・制作・運営、収蔵作品の管理、収蔵作品やその作家の調査、情報発信などのお仕事をしています。また、巡回展では、他の美術館などでも展示される作品の展覧会の企画も行います。夢美術館は比較的規模は小さい

ですが、親密な空間で作品と深く向き合えるなど、当館だからこそ引き出せる作品の魅力を体感できます。さらに、八王子にゆかりのある作家やその作品に親しみを感じてもらえるような展覧会の企画づくりにも挑戦しています。

インタビューしました！

『やりがいを感じる瞬間は？』

展覧会の企画をする際、作品に合わせて展示方法を工夫したときに、他の展覧会で見たものより見やすかった、まるで違う作品の展覧会のように良かった、などの感想をいただいた時はとても嬉しかったです。(学芸員S)

『今まで担当した中で一番印象に残った展覧会は？』

今年の4～6月に開催した「最後の浮世絵師 月岡芳年展」です。それまで担当していた展覧会では、とにかく仕事をこなすのに必死でした。最近になって、まずは自分が作品の良さを楽しみたいと、お客様にも楽しんでいただけないのではと気づきました。芳年展では自分が“面白い”と思う方法を考えながら展示ができるようになった気がします。これからも、自分自身楽しみながら、お客様が作品と良い時間を過ごせる展覧会を企画していきたいです。(学芸員U)

ララララ

voice

財団主催公演の来場者アンケートから、感想をご紹介します。

10/10(月・祝) J:COMホール八王子
池上彰 講演会
～社会のために私たちができること～
社会貢献を大袈裟に考える必要は無く、身近なところから始めればよいということが分かりました。物資による支援だけではなく、知識の支援が後々まで役立つということが理解できました。

10/23(日) いちょうホール 大ホール
東儀秀樹コンサート～悠久の音色に包まれて～
今まで雅楽を生で聴いてみたいと思っていましたが、敷居が高いイメージが強くなかなか足を運ぶまでには至りませんでした。友達が東儀さんのファンで思い切っ一緒に参加させていただきました。古典的なメロディのもの、とても聴きやすく感じました。ハナミズキは涙が出ました。

11/3(木・祝) J:COMホール八王子
東京交響楽団 第9回八王子定期演奏会
牛田さんの繊細なタッチが、ホールに快く響き、素晴らしいかったです。広上さんの後半の踊るような指揮がチャミングでした。ハーブ・オーボエ等の印象的なソロを生で間近で聴けてよかったです。「くるみ割り人形」をクリスマス前に聴けて、気持ちが浮き立ちました。



本誌「ララララ
MAGAZINE」への
感想、ご意見も募集
しています！



はちびと

八王子の文化を支えるまちの
人々をご紹介します！



坂本多佳子 さん

●現在の活動を始めるきっかけは何だったのでしょうか。
私自身は演奏家ではないのですが、娘が音楽の道に進んだことから若い音楽家の演奏に触れる機会が増え、いつも素晴らしいなと思いながら聴いていました。
日本の演奏家は若くてもレベルが高いのですが、高い演奏技術を持つていても辞めてしまう方が多く、また一般の方がその演奏を聴く機会が少ないことを残念に思っていました。そんな中、若手演奏家のコンサートに携わる機会をいただき、そこから繋がりが生まれ、今ではたくさんの演奏家の演奏活動のサポートやコンサートのコーディネートをするようになりました。普段はクラシックを聴かない方にも演奏の素晴らしさを知っていただきたいという思いで現在も活動しています。

●やりがいを感じる瞬間はどのような時でしょうか。
4年前から豊田にある商業施設イオンモール多摩原の森で毎週木曜日にミニコンサートを行い、来年2月で二百回になるのですが、若手演奏家の本格的な演奏を地域で気軽に聴けるといって、この4年間、幅広い年代の方からいらしていただくようになり、音楽で社会に貢献できているなと感じられる機会は意外と少ないのですが、長く続けることで徐々にお客様が増え、音楽が癒されるという声も多くなり、役立てていると、地域の活性化にも役立っているということが目に見えて実感できるのは、やはりとても嬉しいです。

●後は八王子でどのような活動をしていきたいですか。
八王子は大好きな街です。八王子の方々にはこれまでとてもお世話になっているので、私も音楽の力で街の活性化に貢献できれば嬉しいなと思っています。

第5回 八王子ユースオーケストラの活動を調査！



ミライの
BLINKA
研究室



Hachioji Youth Orchestra

八王子ユースオーケストラは、2012年度に結成し、小学生から25歳までのメンバーで八王子市内を中心に活動しているオーケストラです。2021年度より音楽監督に井田勝大先生を迎え、今年度は4月のいちょうホールでのコンサートに始まり、8月にはショッピングモールにてアンサンブルコンサートを開催、10月には講演会にゲスト出演するなど通常の演奏会の枠に留まらず幅広く活動しています。今回はそんなユースオーケストラのメンバーと音楽監督の井田先生にお話を伺いました！



メンバーでパンフ
レット作りにも挑戦！



4月
春のwelcome
コンサート



ヴァイオリン
内田 悠さん

初めてのアンサンブルで、練習ではオーケストラのように常に先生から指示をもらえるものではなく、自分たちで練習をまわしていくことの難しさがありました。でも、練習の中での課題を話し合っていくうちに、お互い意見を言い合えるようになって、メンバー同士の仲をより一層深めることができた貴重な機会になりました。



自分たちで考えた
曲紹介&MC！



8月
アンサンブル
コンサート



オーボエ
星野琴音さん

私はオーボエ奏者として、目立つところを重点的に練習していましたが、アンサンブルでは、他の部分もメンバーと息を合わせる大切さを学べたと思います。当日は、バランスの良い演奏ができるように心掛けました。ショッピングセンターでは、いつもよりも楽しく演奏ができました。また街中で演奏する機会があれば嬉しいです！



井田勝大

音楽監督の井田勝大先生に聞きました！

「今後、八王子ユースオーケストラ
が目指すものとは…？」

八王子の文化は、多くの方々の尽力によりつくり上げられていると思います。八王子ユースオーケストラも、八王子市内外の様々な団体と交流を深めていく中で、さらに多くの皆様に応援していただけるような、またその先には八王子の文化の一端を担えるような団体へと進化していきたいです。

ココがスゴイ

オーケストラへの参加が初めてという初級者から音楽大学に通う上級者まで、幅広いレベルのメンバーが集う八王子ユースオーケストラ。それぞれの演奏や自己表現の目標を実現できるオーケストラを目指していて、有志のメンバーで選曲・編曲したポップスメロディーを演奏したり、演奏会パンフレットをデザインから曲紹介まで自分たちで考えたり、とにかくメンバーたちの主体性あふれる取組みがスゴイ…！演奏技術だけでなく、様々な角度から音楽や演奏会づくりについて学び、その楽しさを実感できるオーケストラ。今後の活躍にも期待いっぱいです！(財団スタッフM)



終演後にみんなで
記念撮影♪



10月
池上彰
講演会



トロンボーン
野上功さん

僕とみんなはこの演奏会で成長できたことがあります。お互いがどんなことを考えて演奏しているか共有するようになったこと。コミュニケーションをとることができるように、金管楽器パート全体に絆ができたこと。なにも考えず一生懸命演奏するのではなく、バレエ音楽ならそのストーリーにあわせた新しい演奏の仕方ができたことです。

一緒に演奏するメンバーを大募集中！

メンバー、講師、スタッフ一同、心からお待ちしております！
3/12(日)には、いちょうホールで地元バレエ団「バレエシャムブルウエスト」と共演する演奏会を開催。
練習の見学は随時受付中。詳細は公式ホームページへ♪

